

インドネシア：3会合連続で政策金利を5.75%で据え置き 通貨ルピアの安定と外国投資家の投資拡大を促す

インドネシア中央銀行（BI）は9月23日、政策金利を3会合連続で5.75%に据え置くことを決定しました。BIは対ドルで過去最低水準に下落した通貨ルピアを防衛するため、5月から6月にかけて3回にわたり合計1.0%の利上げを実施しましたが、6月以降はルピアが一定程度回復したことから、市場の事前予想でも金利据え置きが予想されていました。BIの動向、市場の反応および今後の見通しについて解説いたします。

➤ 据え置きで国内経済の成長を強化

金融政策の概要：

- BIは9月23日に終了した金融政策決定会合で、政策金利である7日物リバースレポ金利を5.75%に据え置くことを決定しました。中東での紛争によって世界的なインフレ懸念が高まる中、9月には米国が利上げに踏み切り、追加利上げ観測が高まっています。これが新興国通貨に対する米ドルの強さの背景にもなっていますが、この状況に対してBIは「対外的な強靱性を高め、安定を維持し、国内経済の成長を強化する」としています。
- BIは海外からの投資資金流入を促進するため、ルピアの安定を強化するとともに、政策的インセンティブの拡大など、あらゆる金融政策手段を最大限に活用するとしています。ルピア建て資産購入の外国投資家向けにヘッジコストの割引を拡大し、資本流入を促すと発表しました。

インフレ動向：

2026年8月のインフレ率は前年同月比+3.19%と前回の+2.88%から上昇しましたが、BIの目標レンジ（2.5%±1%）内に収まりました。BIは、2026年および2027年を通じてインフレ率が目標レンジ内に収れんするよう、「ルピア為替レート of 安定化を含む金融政策ミックスによる対応の継続・強化」を強調しています。

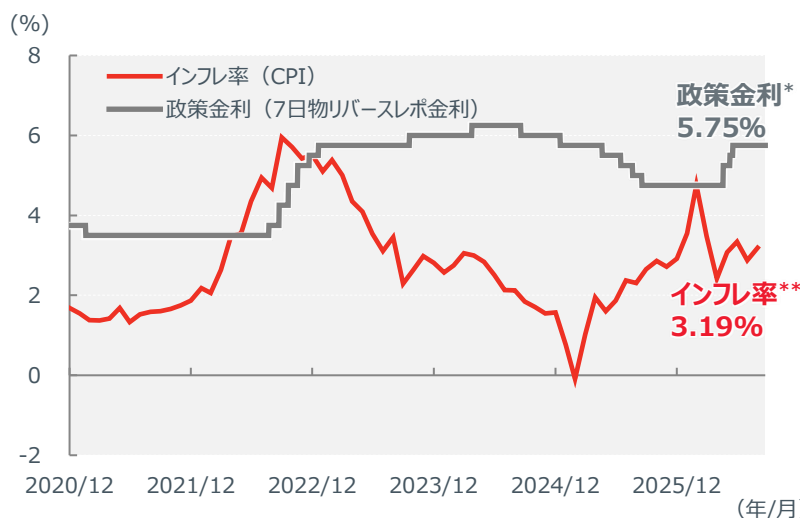
経済成長見通し：

- BIは、2026年の実質GDP成長率について、4.9～5.7%のレンジで推移するとの従来の見通しを据え置き、堅調な経済成長を見込んでいます。

政策金利と インフレ率

政策金利*とインフレ率**の推移

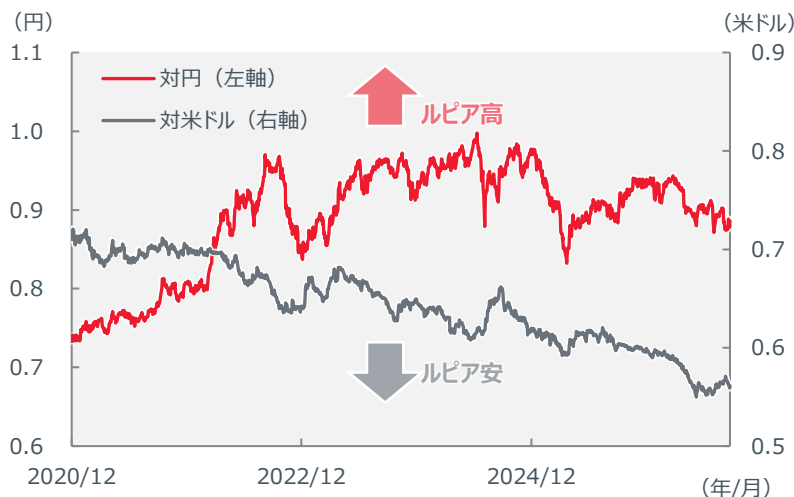
（2020年12月31日～2026年9月23日、日次）



為替

インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移

（2020年12月31日～2026年9月23日、日次）



○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会

260924(07)

(1/2)

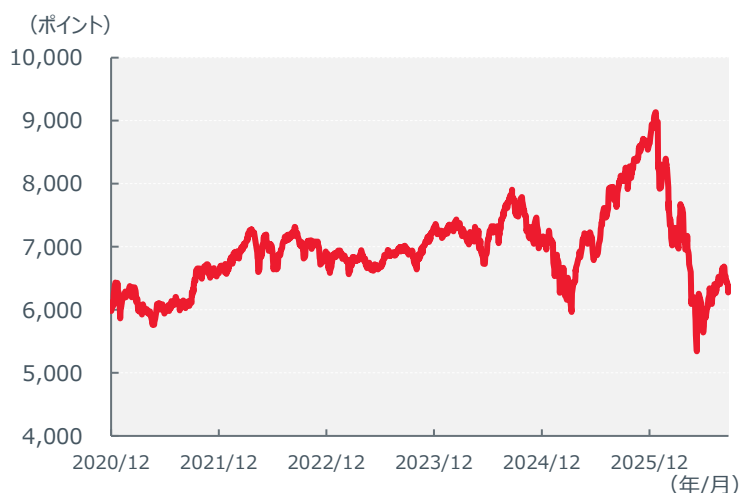
➤ 市場の反応と今後の見通し

- 政策金利の据え置きを発表後、ルピアは対米ドルで前日比0.38%、対円で0.87%上昇しました。インドネシア株式市場（ジャカルタ総合指数）は前日比1.56%上昇、債券市場では10年国債利回りが前日比-1.6bps（-0.016%）となりました。
- 当社では、今回の決定は、ルピアおよび現地通貨建て債券市場の双方にとって支援材料になると考えています。通貨の安定が依然として最重要課題である一方、BIがより幅広い政策手段を活用し、国内の流動性の支援にも取り組む姿勢を示したことで、追加利上げに踏み切るハードルは高まったと考えています。また、景気下振れリスクや為替変動への対応において、より効果的な手段を有していることも示唆されました。
- ルピアの安定、為替ヘッジ支援策の拡充、そしてより緩和的な流動性環境は、短期的に追加金融引き締めを行う必要性を低下させる要因になると考えられます。ただし、世界的な市場変動、インフレ動向、そして米国の金融政策の先行きに関する不透明感が依然として残ることから、BIは慎重な政策運営の姿勢を維持すると考えています。

株式

ジャカルタ総合指数の推移

（2020年12月30日～2026年9月23日、日次）

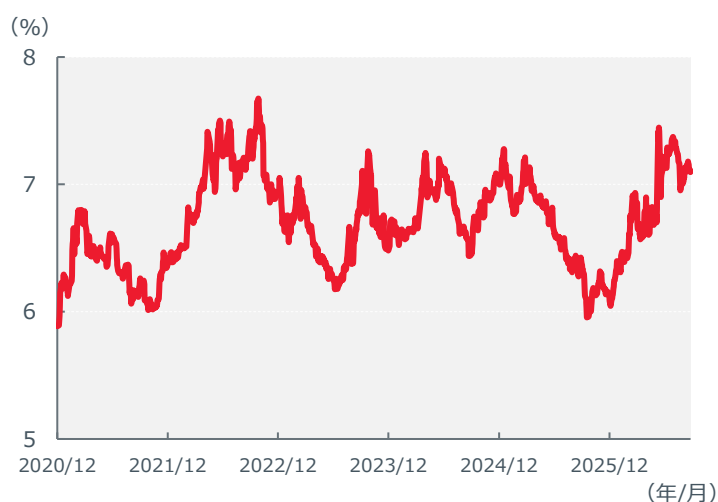


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

債券

インドネシア10年国債利回りの推移

（2020年12月30日～2026年9月23日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。